



自信の高め方 ～運動も やればできる！～

「運動を好きにさせるには、子どもたちが持っている強い固定能力感を変化させることが大切です。」

7月3日に行った校内研修で、立命館大学スポーツ健康科学部大友 智先生が教えてくださったお話です。

子どもたちは、今までの学習や体験の中で、

「ドッジボールは苦手だなあ。ボールを投げられないし…」

「どうせ練習したって上手にならないし…」

というような自分自身の運動に対する能力感を持っています。

そこで、子どもたちの運動への無力感を有能感へ変えるような体育の授業づくりが大切であることを教えていただきました。



1・2年生 まとあてゲーム

自分の能力は変わらない。(練習してもムダ、失敗するかもという不安)



自分の能力は変わる。(練習すれば大丈夫、努力で能力は変化する)

<子どもとの接し方で 自信を高める方法(有能感を高める)>

子どもの気持ち (自信の持ち方)	自分は運動はできる	自分は練習すればできる	自分は先生や仲間から 受け入れられている
教師がすること	できている事実を見逃が さず伝える	できた理由を見逃さず伝え る	周囲に対する指導を大 切にする
声の掛け方や 支援方法	「今日、逆上がりができる ようになったね。」 「この時間で、ボールを遠 くまで投げられるようにな ったね。」	「何回失敗しても繰り返し練 習したから、跳び箱を跳べ るようになったんだね。」 「今日、逆上がりができたの は、いつも休み時間に練習 していたからだね。」	・周囲からの「ナイス」 「ドンマイ」「ハイタッ チ!」 *振り返りの時間を作り、 友達のいいところ見 つけをする。

上に書いた内容は、「体育」のことだけでなく、学習や生活の様々なことにも当てはまります。併せて、この自信の高め方は、家庭と学校が連動して行うことで、より一層効果が上がります。先日の期末懇談会での話、そして、今日持ち帰った通知表をもとに、1学期のがんばりや成長についてお子様とじっくり話をし、自信を高めていただきたいと思います。

「やればできるんだ!」という自信と次に向けて挑戦するエネルギーをこれからも学校と家庭が協働して育んでいきたいと思ひます。



まとあてゲームでの
作戦タイム

情報モラル出前授業



もし困ったことがあれば、遠慮せず、豊岡警察署に電話を掛けるか、清滝・西気駐在所のお巡りさんに連絡をしてください。



7月7日、豊岡警察署生活安全課の方に情報モラルの出前授業をしていただきました。

<被害者にも加害者にもならないために>

- ・情報機器は世界の人とつながっています。
→何かを送る時には相手をきちんと確かめてほしい。
- 様々なデータは、インターネット上に流れると簡単にコピーができるので、消すことはできません。
- 写真には位置情報が記録されており、自分の居場所が分かるので危険です。

<偽サイトの恐ろしさ>

- ・インターネットで何かを購入する時、「うまい話には罠がある」と思って注意してください。（子どもがインターネットで何かを買うことはやめた方がよい。）
- ・いろいろな特殊詐欺があるので注意が必要です。

これから始まる夏休みは、教えていただいたことを胸に情報機器を適切に使ってほしいと思います。

水の危険から身を守る ～着衣泳～

7月8日、4～6年生の子どもたちが、着衣泳を行いました。水の事故に備え、いざという時に慌てず、自分の命を守るための心構えを持つことがこの授業のねらいでした。

<着衣泳で学んだこと>

- ・衣服を着て、水に入ったときの感覚を知る。
→服を着て水に入ると、その抵抗を大きく受けるため、歩いたり泳いだりすることは難しい。
- ・水の中では、上を向いて浮かびながら助けを待つ。
→体力を残すためにも無理に泳ごうとせず、上を向いて浮かびながら助けを待つことが大切です。
- ・ペットボトルが浮き輪代わりになる。
→ペットボトルをお腹の上で抱えたり、首の下に枕のように置いたりすると浮きやすい。

子どもたちはこの授業を通して改めて水の恐ろしさを体感しました。明日から始まる夏休みも川や海での事故には十分に気を付け、安全に過ごしてほしいと思います。



改めて水は怖いと感じました。海や川で水の事故に遭わないようにすることが一番だと思いました。

まーぶるスマイルズさんの七夕おはなし会

7月13日、まーぶるスマイルズさんが学期に一度の拡大おはなし会をしてくださいました。初めに拡大絵本「ばけばけばけばけ ばけたくん」を読んでくださいました。ばけた君が夜中に台所に出てきていろいろな物を食べると、食べた物そっくりに変わっていくという楽しいお話でした。次に読んでくださったのは、紙芝居「なんにもせんにん」です。昔、テレビで放送されていた日本昔話を思わせるまーぶるスマイルズさんの息の合った読み聞かせで、子どもたちは昔話の世界を大いに楽しみました。全校生で物語の楽しさを感じることができた素敵なおはなし会となりました。



まーぶるスマイルズさん、一学期も楽しい読み聞かせをしてくださり、ありがとうございました。2学期もおはなし会を楽しみにしています。

出前講座 「クマについて知る」

7月14日、豊岡市役所有害鳥獣主任対策員の岡居 宏顕様にクマについての出前講座をしていただきました。

<クマについて知る>

- ・クマは本来は臆病な生き物で、人と暮らしたいと思っています。
- ・山が低い豊岡では、クマは人と上手く暮らしていないかと棲むところがなくなってしまうことを知っています。
- ・人と出会っても、クマの方から逃げてくれます。
- ・でも、人が大声を出したり逃げ道をふさいだりすると、人を襲うことがあります。クマはとても力が強いので、命の危険につながる大けがになることがあります。

<クマに出会ってしまったら>

- ・大声を出したり悲鳴を上げたりしてはいけません。
 - ・子どもがクマに襲われたという事例はほとんどありません。
- 子どもは話をしていたり、クマ鈴を付けていたり、歩くスピードが遅かったりするため、クマに逃げる時間があるためです。(クマに逃げてもらうことが大切です。)

<クマに出会った時の練習をしましょう>

- ・声を出さずに黙って見守りましょう。鈴を鳴らすことも効果があります。
- ・集団で囲むようなことはせず、クマの通り道をできるだけ広く開けましょう。



お忙しい中、クマのことをたくさん教えていただき、本当にありがとうございました。

正しい知識を得て適切に行動することで、クマに襲われる危険性は低くなり、安心して生活することができます。この学習を今後の生活に生かして、クマの危険から身を守ってほしいと思います。

